

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	神崎市立千代田東部小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『夢に向かって、気づき・考え・行動する』児童の育成」を重点に置き、マナー教室等を実施することができた。その結果「自らの夢や目標を実現に向けて努力する」と回答する児童の割合99%、「自分にはよいところがある」というアンケートで、1学期88%、2学期は96%であった。向上心や自己肯定感の伸びがみられた。</li> <li>・コロナ禍という状況ではあったが、オンライン、規模縮小、内容変更等の工夫を試みながら、学校行事を実施することができた。これらの経験が、教科学習の授業だけでは得ることのできない達成感や協働性、責任感を向上させることができた。</li> <li>・家庭学習の習慣化については、「家での勉強ができている」児童は88%であった。保護者も80.4%が「できている」と答え、一定の成果が見られた。次年度も家庭での生活習慣と併せ、継続して保護者や児童に働きかけていく。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>「渾身勉強」「白鳥蓮花に入る」 ～ 「夢に向かって、気づき・考え・行動する」児童の育成 ～</p>
3 本年度の重点目標	<p>①自分づくり(得意分野をもち、仲間と未来を語る心優しい子の育成) ②仲間づくり(意欲的で、自信をもって自己表現できる子の育成) ③学びづくり(試行錯誤し、根気強く挑戦できる子の育成)</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
(1) 共通評価項目											
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上 (学びづくり)	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・学期末にマイプランを見直し、共通する課題等を研修会等で共有する。「授業づくりのステップ1・2・3」の振り返りを毎週行い、指導の手立ての確立の促進を図る。							学力向上Co	
	○家庭学習の習慣化	○「学年にあった時間、家での勉強ができている」と回答する児童75%以上	・毎学期「学習がんばろう週間」を行い、家庭での学習時間と内容の確認を保護者で行う。「小学生新聞」の活用を、学年において自読タイム等で行う。							学力向上Co	
●心の教育 (自分づくり)	●児童の「よさを見抜き、認め、伸ばす」支持的風土のある学級・学校づくりの取組	○カード1年間に25枚以上 ○「心タイムアンケート」各項目90%以上	・「心タイム」等で、「ほかほかカード」「心の木カード」を書かせたり、スターシールを活用したり、エンカウンターや「自慢大会」などをしたりすることで、自己肯定感の向上を図る。							自分づくり部	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等についての組織的対応ができていると回答した教員95%以上	・毎月1回行う「心アンケート」の結果や気になる子の情報を生徒指導連絡会で全職員と共有する。 ・SCや地域の方を含めた、年2回のいじめ防止対策委員会を行う。							生徒指導 教育相談	
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「自らの夢や目標を実現に向けて努力する」と回答する児童の割合95%以上	・年2回「マナー教室」を実施し、学年や個人に応じた夢や目標を立て、実現に向けて何をどう行うか、考え努力を継続する。								教務主任 校内研究主任 道徳主任
●健康・体づくり (仲間づくり)	●仲間のよさが実感できる体験活動の充実	◎「友達と力を合わせて、生活や勉強ができている」と回答する児童の割合95%以上 ○「昼休み外で元気に遊んでいる」と回答する児童の割合90%以上	・縦割り活動を充実させるため、毎学期縦割り班対抗の種目を児童が主体的に計画し、実行する。 ・縦割り班を有効に活用し、体育的行事やスポーツチャレンジによる体力づくりへの取組を行う。							仲間づくり部 体育主任	
	●「白鳥蓮花に入る」の精神が生きるボランティア活動の充実	○ボランティアパスポート1冊以上100% ◎進んで元気なあいさつをする児童、あいさつ運動に取り組む児童90%以上	・ボランティア集会や放課後、ボランティアについて伝え、全児童が自主的にボランティア活動に取り組むようにする。 ・あいさつやあいさつ運動など、よい行いをしている児童を各学級や全校朝会などで紹介する。							仲間づくり部 ボランティア美化委員会	
	●「望ましい生活習慣の形成」	○学年に応じた就寝時刻を守る児童の割合85%以上	・月1回の保健だよりや長期休業前の生活の話などを通して、基本的な生活習慣の大切さ(家庭での過ごし方)を啓発していく。								生徒指導 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間等の上限の遵守	・18:15の全職員退勤時刻と毎週金曜日の提示退勤日を周知徹底し、必ず18:00に声掛けを行う。							教頭	
	○働きやすく、疲労蓄積の低減を目指した働き方改革の推進	○「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」での「負担度 やや高い」職員の割合15%未満	・朝の体温と健康状態に加え、退勤予定時刻を出動時に記入し、仕事の効率化を図る。							教頭 養護教諭	
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○地域の特色を生かした教育 (仲間づくり)	○地域教材の活用 (「次郎の里」教育の実践)	○「千代田の町や人が好きです」と回答する児童95%以上	・下村湖人生家体験学習を、各学年1回実施する。 ・「次郎週間」「次郎とのふれあい遠足」「次郎集会」を設定し、郷土を愛する心を育む。							特別活動主任 教務主任	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育											
5 総合評価・ 次年度への展望											